

《練習問題①》

3 級

パソコン技能検定エクセル試験

(制限時間 40分)

《注意事項》

1. 合図があるまで、問題用紙を開かないでください。
 2. 試験委員の指示をよく聞いてください。
 3. 受験票、筆記用具以外のものは、机の上に出さないでください。
 4. 試験時間は自動的にカウントされます。終了すると「終了画面」に切り替わります。
 5. 試験はどの課題から始めてもかまいません。
 6. 文章や文字を入力する指示のある問題文中の「 」やふりがなは、入力する必要はありません。
 7. エラーの画面が表示されたら試験委員を呼んでください。
 8. 解答保存フォルダにあるファイルについては、ファイル名を変更して作成を始めてください。
解答保存フォルダに保存されている「受験番号_01.xlsx」、「受験番号_02.xlsx」を右クリックし、[名前の変更(M)]を選び、ファイル名の「受験番号」の部分をも自分の受験番号に変更しなさい。その際、受験番号は半角で入力すること
- 例 受験番号が 010025003005 の場合 010025003005_01.docx と変更
9. 保存時に「互換性チェック」のダイアログボックスが表示された時は、[続行(C)]をクリックして保存してください。
 10. 問題用紙は試験終了後に回収します。

【3級－課題1】

問題：解答保存フォルダに保存されている「受験番号_01.xlsx」を開き、シート「3q_kadai1」に、右の指示に従い、以下のような表を完成しなさい。

※注1：下図の1行目、1列目の網かけ部分の英数は、表計算機能における行番号、列番号であり、入力する必要はない。

※注2：下図の空欄の計算箇所（太枠の箇所）については、関数または数式を使用せずに解答した場合は点を与えない。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	主な都道府県の小学校・中学校の学校数								
2	単位：校								
3	都道府県	令和元年度							平成30年度 小・中学校 学校数計
4		小学校		中学校		小・中学校			
5		学校数	割合	学校数	割合	学校数計	前年度比	状況	
6	北海道	1027		595			0.9878		
7	宮城	383		207			0.9933		
8	福島	440		230			0.9882		
9	茨城	480		224			0.9874		
10	栃木	360		164			0.9943		
11	埼玉	814		447			0.9984		
12	千葉	790		400			0.9876		
13	東京	1331		804			0.9995		
14	神奈川	889		476			1		
15	新潟	456		232			0.9843		
16	長野	371		196			1.0018		
17	岐阜	370		186			0.9946		
18	静岡	508		294			1		
19	愛知	974		442			0.9972		
20	三重	373		168			0.9927		
21	京都	380		191			0.9896		
22	大阪	999		521			0.9941		
23	兵庫	761		386			0.9965		
24	岡山	391		164			0.9982		
25	広島	479		268			0.992		
26	福岡	738		368			0.9982		
27	熊本	347		172			0.9943		
28	鹿児島	515		232			0.9894		
29	合計		—		—		—	—	
30	平均		—		—		—	—	
31									
32	※小学校、中学校ともに分校を含む。								
33	出典：文部科学省『学校基本調査』の平成30年度及び令和元年度のデータを加工して作成								

- セルA1にタイトル「主な都道府県の小学校・中学校の学校数」、セルA2に「単位：校」とそれぞれ全角で入力しなさい。また、セルA1のタイトルのフォントサイズを15ptにしなさい。
- 3行目以降について、罫線、セル結合、塗りつぶし、項目の文字列の位置揃えは、左表の通りにしなさい。なお、塗りつぶしの色は「黄」にすること。
- 「前年度比」の表示を小数点以下第二位の％表示にしなさい。
- 「令和元年度」の「小学校」と「中学校」の「学校数」をもとに、「小・中学校／学校数計」を求めなさい。
- 「令和元年度」のそれぞれの「学校数」の、「小・中学校／学校数計」に対する「割合」の値をそれぞれ求め、表示形式を用いて小数点以下第二位の％表示にしなさい。
- 「状況」を下記の条件いずれかを表示し、列幅を「10」にしなさい。

「前年度比」の値	「状況」の表示
100%より大きい	増加
100%の場合	現状維持
100%未満	減少

- 「平成30年度」の「小・中学校／学校数計」を、「令和元年度」の「小・中学校／学校数計」の値及び「前年度比」から求めなさい。
ただし、関数を利用し、小数点以下を四捨五入した整数の値を求めること。
- 「令和元年度」の「小学校」と「中学校」の「学校数」、「小・中学校／学校数計」、「平成30年度」の「小・中学校／学校数計」の「合計」と「平均」の値を求めなさい。ただし、「平均」は関数を利用して小数点以下を切り上げた値を求めること。
また、これ以外の「合計」及び「平均」のセルには、「－」（マイナス）を全角で入力し、中央揃えにしなさい。
- 3桁を超える数値は、3桁ごとにカンマが表示されるよう書式を設定しなさい。
- セルA32の「※」に続けて「小学校、中学校ともに分校を含む。」、セルA33の「出典：」に続けて「文部科学省『学校基本調査』の平成30年度及び令和元年度のデータを加工して作成」と、それぞれ全角で入力しなさい。

■完成したファイルは上書き保存しなさい。

なお、保存時に「互換性チェック」のダイアログボックスが表示された時は、[続行(C)] をクリックして保存しなさい。

【3級－課題2】

問題：解答保存フォルダに保存されている「受験番号_02.xlsx」を開き、シート「3q_kadai2」の表について、右の指示に従い、編集しなさい。

※注1：下図の1行目、1列目の網かけ部分の英数は、表計算機能における行番号、列番号であり、入力する必要はない。

※注2：下図の空欄の計算箇所（太枠の箇所）については、関数または数式を使用せずに解答した場合は点を与えない。

	A	B	C	D	E	F
1	横浜市の区別の人口					
2	単位:人					
3	区	平成30年				平成29年
4		H30人口	順位	前年比	状況	H29人口
5	鶴見区	291329				289807
6	神奈川区	236829				235449
7	西区	99424				98021
8	中区	151463				151385
9	南区	199085				198854
10	保土ヶ谷区	205656				205768
11	磯子区	168071				167988
12	金沢区	200265				201098
13	港北区	343332				341531
14	戸塚区	278196				277189
15	港南区	215180				215738
16	旭区	247766				248513
17	緑区	180436				180382
18	瀬谷区	124948				125594
19	栄区	121943				122414
20	泉区	154232				154926
21	青葉区	308335				308963
22	都筑区	211355				212223
23	合計		—	—	—	
24	平均		—	—	—	

1. 「順位」は、関数を用いて求めなさい。「平成30年」の「H30人口」をもとに多い順に順位がつくようにすること。
2. 「平成30年」の「H30人口」の、「平成29年」の「H29人口」に対する「前年比」の値を求め、表示形式を用いて小数点以下第二位の%表示にしない。
3. 「状況」を下記の条件にていずれかを表示しない。

「前年比」の値	「状況」の表示
100%以上の場合	増加
100%未満	減少

4. 「H30人口」と「H29人口」の「合計」と「平均」の値を求め、「平均」の計算結果は、表示形式を用いて整数の表示にしない。また、これ以外の「合計」及び「平均」のセルには、「-」（マイナス）を全角で入力し、中央揃えにしない。
5. 3桁を超える数値は、3桁ごとにカンマが表示されるよう書式を設定しない。
6. 「順位」の昇順に並べ替えない。

■完成したファイルは上書き保存しない。

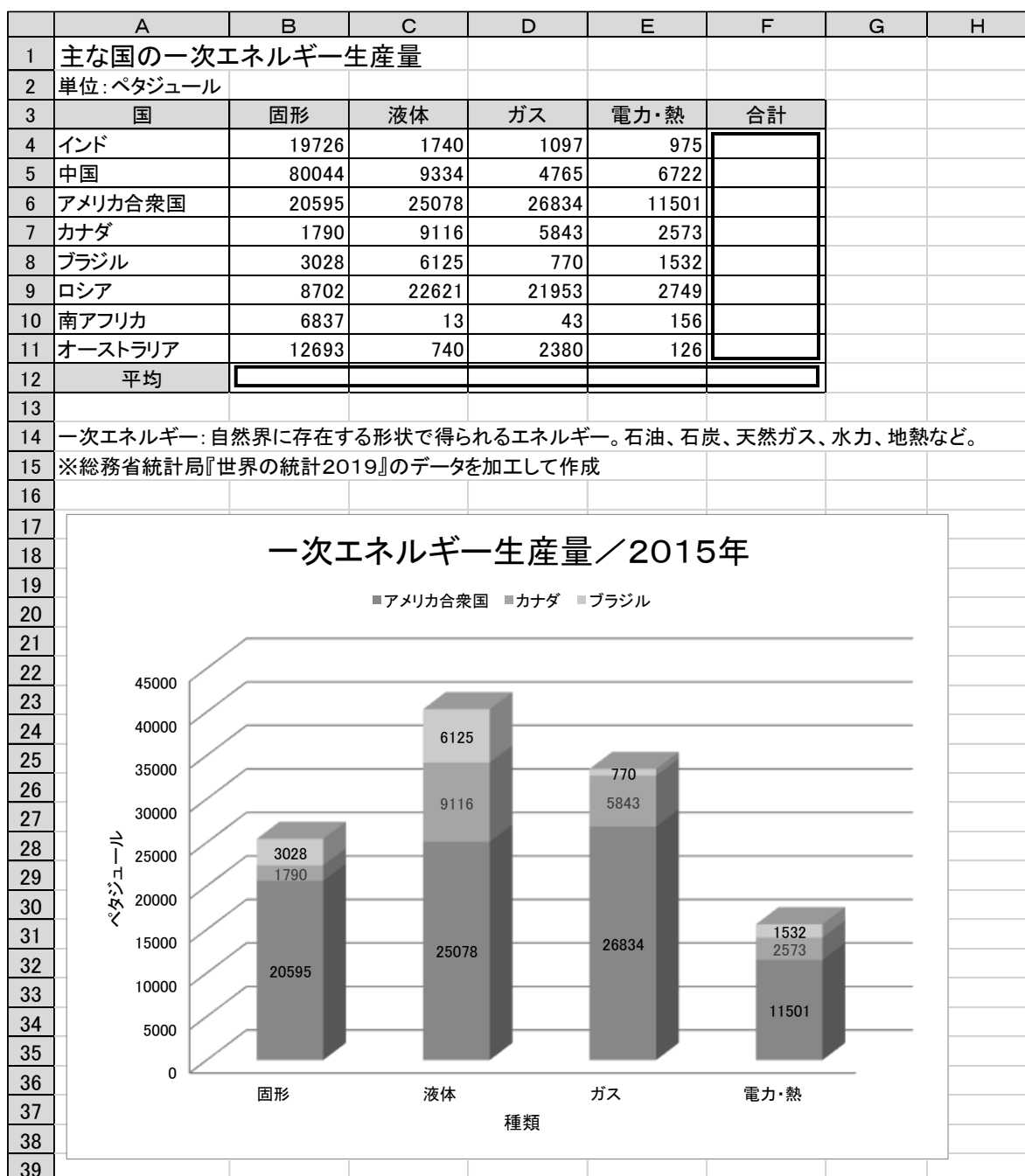
なお、保存時に「互換性チェック」のダイアログボックスが表示された時は、[続行(C)]をクリックして保存しない。

【3級－課題3】

問題：解答保存フォルダに保存されている「受験番号_03.xlsx」を開き、シート「3q_kadai3」に、右の指示に従い、以下の表及びグラフを作成しなさい。

※注1：下図の1行目、1列目の網かけ部分の英数は、表計算機能における行番号、列番号であり、入力する必要はない。

※注2：計算箇所（太枠の箇所）については、関数または数式を使用せずに入力して作成した場合は点を与えない。



＜表の作成・編集＞

1. セルA1にタイトル「主な国の一次エネルギー生産量」、セルA2に「単位：ペタジュール」とそれぞれ全角で入力しなさい。また、セルA1のタイトルのフォントサイズを12ptにしなさい。
2. 左の通り、表を作成しなさい。項目の文字列は指示がないかぎり、全角で入力すること。
また、セル幅・行幅は、文字・数値が確認できるように整え、罫線、セル結合、項目の文字列の位置揃え、塗りつぶしは左表の通りにしなさい。なお、塗りつぶしの色は「黄」にすること。
3. 「合計」と「平均」の値を求めなさい。ただし、「平均」は、関数を利用して小数点以下を四捨五入した値を求めること。
4. 3桁を超える場合は、3桁ごとにカンマ表示されるよう書式を設定しなさい。
5. セルA14に「一次エネルギー：自然界に存在する形状で得られるエネルギー。石油、石炭、天然ガス、水力、地熱など。」、セルA15に、「※総務省統計局『世界の統計2019』のデータを加工して作成」とそれぞれ全角で入力しなさい。

＜グラフの作成・編集＞

6. 指示1～4で作成した表の、「固形」・「液体」・「ガス」・「電力・熱」の「アメリカ合衆国」・「カナダ」・「ブラジル」のデータを用いて、左図のような3-D 積み上げ縦棒グラフを作成しなさい。
※グラフの色・模様など細部は問わない。
7. グラフの位置（配置先）は、指示5で入力した文章の次行以降とすること。
8. グラフのタイトルと軸ラベルは左図の通りとしなさい。ただし、入力する文字はすべて全角とする。
9. データラベルは値を表示しなさい。
10. 凡例は上に表示しなさい。

■完成したファイルは上書き保存しなさい。

なお、保存時に「互換性チェック」のダイアログボックスが表示された時は、[続行(C)] をクリックして保存しなさい。